

令和6年3月22日

## 令和5年度 南が丘小学校の年度末報告書

津市立南が丘小学校

### 本年度の学校教育目標

未来を切り拓く、たくましい子どもの育成

(㊦らいにむかって、㊦かまとともに、㊦んなで、㊦んばり、㊦もいやりを持ち、

㊦しこく生きる子)

### 具体的な行動計画

学校教育目標の実現に向け、8の具体的な行動計画を立て取組を進めてきました。

1 地域とともにある学校	2 小中一貫教育、保幼小の連携
3 確かな学力と楽しい英語教育	4 人権教育
5 特別支援教育	6 生徒指導
7 健康安全教育（安全・食・保健）	8 教職員の資質、チーム力向上、 総勤務時間の縮減

### 学校運営協議会の役割

学校運営協議会は、学校経営方針の承認の他、学校への支援の在り方について年3回の協議を行いました。最終の第3回会議において、8つの重点取組の進捗状況を校長が報告し、これらの取組が子どもの姿にどのように反映されたかを学校自己評価の結果をもとに協議しました。

### 学校自己評価

学校は、評価のための「めざす子ども像」を示し、児童と教員がそれぞれ、学期ごとに評価を行いました。調査は「めざす子どもの姿」に対して、それぞれ児童と教員が3段階で自己評価を行いました。結果は以下の表のとおりです

#### めざす子ども像

《自分で考え、判断し、行動する子》

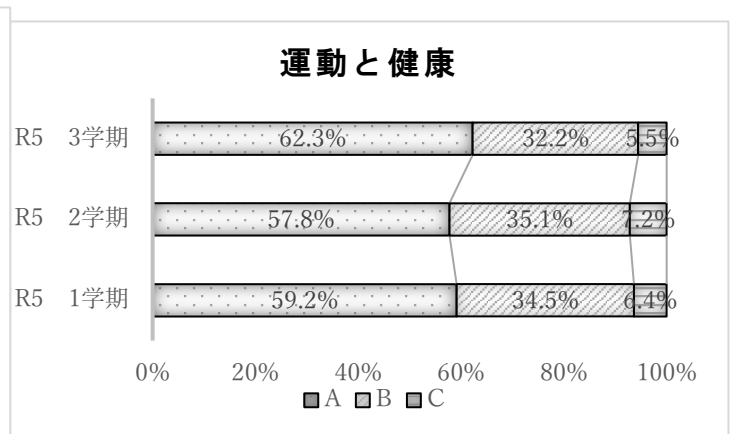
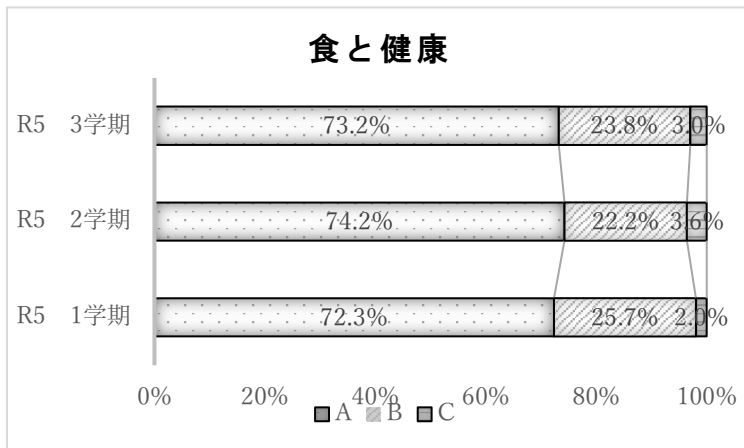
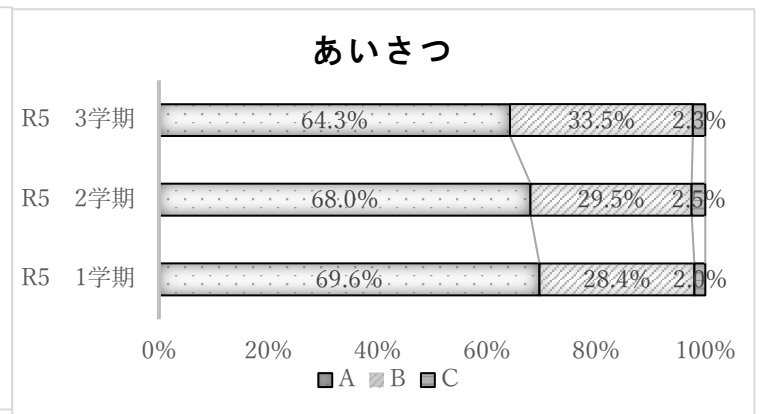
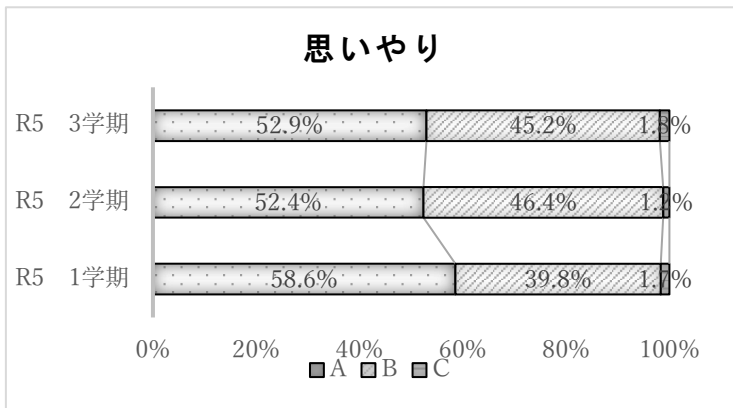
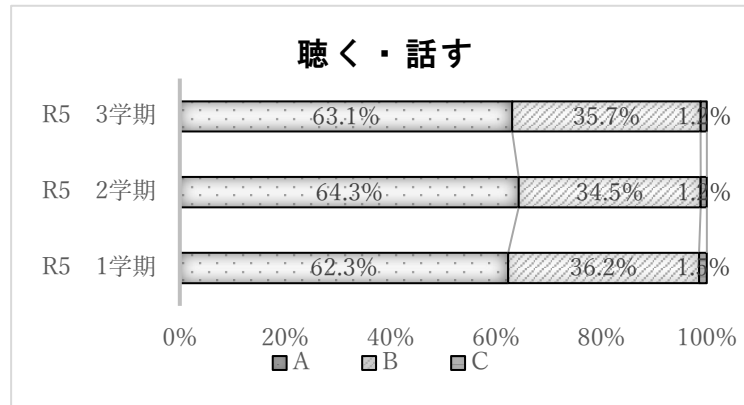
(知) 自ら進んで学び、聴き合い、自分の考えを表現できる子

(徳) 自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子  
進んで元気にあいさつができる子

(体) めあてを持って、健康な体づくりができる子

#### ▼表1 児童アンケートの結果

(A:できた B:まあまあできた C:できなかった)



#### 【考察】

全体的にどの質問項目でも学期が進むごとに肯定的に答える児童の割合は高くなってきています。

これは、学期初めには各担任がそれぞれの評価規準について子どもたちに意識付けをし、学期終わりには子どもたちのがんばりを評価したことで子どもたちの行動変容が見られたためではないかと思われます。

表2 教員の観察調査結果（3点評価の平均）

	めざす子ども像	評価規準	1学期	2学期	3学期
知	・自ら進んで学び、聴き合い、自分の考えを表現できる子	聴く・話す	2.1	2.3	2.6
徳	・自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子	思いやり	2.2	2.4	2.5
	・進んで元気にあいさつができる子	あいさつ	2.3	2.3	2.3
体	・めあてを持って、健康な体づくりができる子	運動と健康	2.3	2.3	2.5
		食と生活	2.2	2.8	2.6

（注：3：児童の80%以上が規準を満たすもの 2：50～80%未満のもの 1：50%未満のもの）

全体的に毎学期の積み上げにより評価が向上していることがわかります。その中で、「聴く・話す」については、本年度、教師だけの物差しだけでなく、その物差しを児童と共有し、視覚化をして取組を進めてきたことで、児童が一定のレベルまで到達していることを実感できるとともに、教員の評価も向上しました。今後は、子どもたちが聴いたことを踏まえて自分の考えをふくらませたり、深めたりしながら、相手に自分の考えや思いを伝えあい、ともに学び合う姿をめざしていきたい。

## 学校教育活動（津市、学校支援委員会による支援を含む）

8つの重点取組に関する主な活動を写真で紹介します。

### ▼地域とともにある学校

下校時の安全指導や「おはなしのへやグループ」による1・2年生への読み聞かせ、1年生の「昔の遊び」や3年生の「昔の暮らし」の学習活動支援、2年生の校外学習への付き添い、5・6年生への家庭科支援等たくさんの場面でボランティアの方の支援をいただきました。



### ▼小中一貫教育、保幼小の連携

南が丘中学校との連携は年3回の教員研修をはじめ、6年生の部活動体験やDVDによる中学校生活説明会を行いました。また、保幼小連携の「なかよくあそぼう会」は、2月に実施しました。



### ▼授業研究推進・英語科教育

「教育課程特例校」「特色ある学校プロジェクト事業」

本校は、文部科学省の教育課程特例校として引き続き1年生から英語科に取り組んでいます。皇學館大学の教授のご指導を仰ぎながら、昨年度作成した各学年の学習カリキュラムと指導案をふまえて、楽しい英語教育をめざしました。



### ▼人権教育

「南が丘地区人権集会」(12月)  
藤本 春生(ふじもと はるお)さん  
(県難聴・中途失聴者協会)  
テーマ:「聞こえの不自由さに関する人権について～中途失聴者の取り巻く環境と対応を考える～」と題した講演を聴き、自分たちのこれまでやこれからの生き方を振り返り、考える機会としました。



### ▼特別支援教育

南が丘中学校との交流会は、1月に外部講師の方に来ていただき、音楽療法を行いました。中学生と一緒に音楽に合わせて楽しく活動ができました。



### ▼生徒指導

「あいさつ運動」(随時)  
登校時に合わせて、生活委員会の児童がルーテル二葉認定こども園の前で中学生と一緒にあいさつ運動を行いました。



### ▼健康安全教育(安全・食・保健)

「感謝集会」(12月)  
安全パトロールの会の皆さんに来ていただき、児童代表が感謝の気持ちを述べるとともに、花束を贈呈しました。



ここに紹介したのは、取組の一部です。他にもさまざまな場面でサポートして下さったボランティアの皆様をはじめ保護者・地域の皆様のご理解とご協力に、心より感謝いたします。来年度もよろしくお願いいたします。